

6-2 Department of Psychological Science 心理科学科

情報フロンティア学部 心理科学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、心理科学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士(情報学)の学位を授与する。
(各記号の説明はWEBに記載・各記号は科目のシラバス内「学科教育目標」として記載しています)

基礎教育部：A～H

A 自己啓発・自己管理能力 B 多様な価値観の理解と倫理的判断能力 C 外国語コミュニケーション能力 D 現象のモデル化と分析能力、論理的思考能力
E 図形コミュニケーション能力 F 基礎的な実験能力 G 問題発見・問題解決能力 H コンピュータリテラシー

専門教育課程：I～N

I 心の基礎的理解力 J 心理整理データ分析能力 K 心理学研究遂行能力 L 心の応用的理解と実践能力 M 心の臨床的理解と実践能力 N キャリアデザイン能力

教育目標

人の心のはたらきについて理解し、それを役立てることは日常生活の中においてのみならず産業界におけるものづくり、コトづくりにおいても重要になってきている。本学科では心のはたらきに関する知識を得ることに加え、心のはたらきを臨床現場に適用するための技術、感性と心のはたらきを科学的に測定し実社会に応用するための技術、脳・神経の仕組みと心のはたらきの関係を理解するための技術を持つ人材を育成する。

課程区分	科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業に必要な最低単位数			
		1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期	必修	選択	文理横断 専門探究	
修学基礎教育課程	修学基礎	▶ 修学基礎 A ②	▶ 修学基礎 B ②							4	—	—	
	人間形成基礎	▶ 実践ウェルビーイング ①		※1									
				▶ 技術者と持続可能社会 ② ▶ 日本学(日本と日本人) A ① ▶ 日本学(日本と日本人) B ①	※1		▶ 科学技術者倫理 ②	※1			7	—	—
		生涯スポーツ	▶ 健康・体力づくり ①	▶ 生涯スポーツ演習 ①							2	—	—
人間と自然	▶ 人間と自然								合格が卒業要件	—	—		
英語教育課程	英語	□ イングリッシュピクチャー1 ②	□ イングリッシュピクチャー2 ②	□ イングリッシュピクチャー3 ②	□ イングリッシュピクチャー4 ②								
		□ イングリッシュピクチャー3 ②	□ イングリッシュピクチャー4 ②	□ ビジネスコミュニケーション1 ②	□ ビジネスコミュニケーション2 ②								
		□ イングリッシュピクチャー5 ②	□ アカデミックリーディング1 ②	□ アカデミックリーディング2 ②	□ アカデミックリーディング1 ②	基礎 初級(案1) 初級(案2) 中級(案1) 中級(案2) 中級(案3)					—	8	
			□ ライティングベーシック ②	□ アカデミックプレゼンテーション ②	□ ライティングベーシック ②	「修学のための学力診断(英語)」の結果から、学生の学習に適したレベル設定(基礎、初級、中級)を実施します。							
数理DS・AI教育課程	数理基礎	▶ 情報のための数学 I ②	▶ 線形代数 ②	▶ データサイエンス基礎 II ①									
		▶ 情報のための数学 II ②	▶ A I 基礎 ① ▶ データサイエンス基礎 I ①		□ 情報数理 A ② □ データサイエンス物理 ②	□ アドバンスト数理 A ② □ アドバンスト数理 B ②	□ 技術者のための統計 ②	※1			9	2	
基礎プロジェクト科目	基礎プロジェクト	▶ プロジェクトデザイン入門(実験) ②	▶ プロジェクトデザイン I ②	▶ プロジェクトデザイン II ②	▶ プロジェクトデザイン実践(実験) ②								
		▶ ICT入門 ① ▶ データサイエンス入門 ①									10	—	—
専門教育課程	専門科目	▶ 情報フロンティア大意(心理学) ①	▶ 心理学のためのプログラミング I ②	▶ 心理学実験 ②	□ 感性評価法 ②	▶ 心理学専門実験・演習 A ③	▶ 心理学専門実験・演習 B ③	□ 公認心理師の職責 ②	□ 福祉心理学 ②				
		▶ 心理学概論 A ②	□ 臨床心理学概論 ②	▶ 心理学統計法 ②	□ 心理学基礎実験実習 II ②	□ 人体の構造と機能及び疾病 ②	□ 心理演習 ②	□ 精神疾患とその治療 ②	□ 司法・犯罪心理学 ②				
		▶ 心理学概論 B ②	□ 知覚・認知心理学 A ②	▶ 心理学基礎実験実習 I ②	□ 心理学データ解析応用 ②	□ 神経・生理心理学 ②	□ 脳情報科学 ②		□ 発達心理学 ②	□ 関係行政論 ②			
		▶ 心理学研究法 ②		□ 教育・学校心理学 ②	□ 心理調査法 ②	□ 社会・集団・家族心理学 ②	□ 発達心理学 ②		□ 消費者心理学 ②				
専門プロジェクト科目	その他	▶ 心理学データ解析基礎 ②	□ 心理学のためのプログラミング II ②	□ 健康・医療心理学 ②	□ 健康・医療心理学 ②	□ 学習・言語心理学 ②	□ 感情・人格心理学 ②						
				□ 観察法 ②	□ 観察法 ②	□ 産業・組織心理学 ②	□ 感情的アセスメント ②						
全課程から提供	リベラルアーツ系科目					▶ イノベーション基礎 ①	▶ 専門ゼミ ①	▶ プロジェクトデザイン III ⑧					
						□ 進路セミナー I ①	□ 進路セミナー II ①	□ 心理実習 ③					
科目の記載はp157-158参照										—	12	※2	

○付数字は単位数を表す。
※1：ゾーンの科目は学科によって開講学期が異なるので注意すること。
※2：「リベラルアーツ系科目」の12単位については、科目群「文理横断」と「専門探究」から合計12単位を修得すること。
※3：「専門探究」の単位数は、科目群「英語」「数理基礎」「専門」より卒業に必要な最低単位数を超えた単位数とする。

合計 **124**

カリキュラムガイド

詳細は次ページへ

キーワード

感性とはたらき

脳・神経の仕組み

データ解析技術

臨床心理学

科目群の主な学習・教育目標

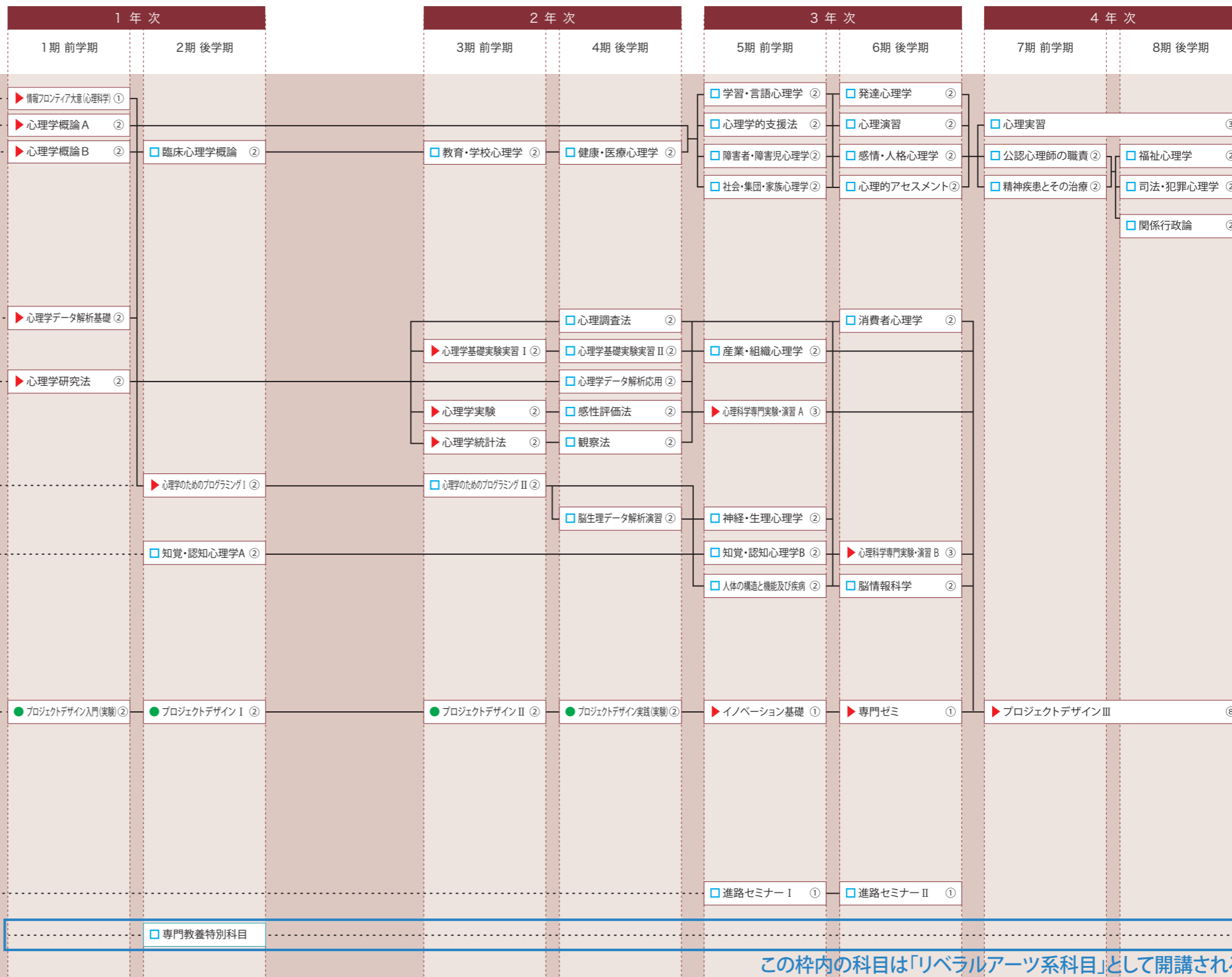
心のはたらきを理解し、臨床現場に適用するための基礎能力
心理学の主要な領域で積み重ねられてきた人間の心のはたらきに関する基本的な知識を体系的に学習するとともに、それらの知見がさまざまな分野に活用されていることを理解する。また体験・実習を通じて、自らが心理学を応用した専門的援助者になるための基礎的な技術を身につける。

感性とはたらきを科学的に測定し実社会に応用する能力
人間の心や感性のはたらきを科学的に測定するための方法を理解し、使いこなすことができる能力を身につける。また、科学的な方法によって得られた人間の心や感性のはたらきについての知見を実社会に応用し、製品やサービスの改善や新たな提案をしていくことができる。

脳・神経の仕組みと心のはたらきの関係を理解する能力
心のはたらきは脳を含む神経系の働きによって支えられている。脳、神経系の仕組みと人間の身体、生理機能に関する知識を得るとともに、それらと密接に関わる心の動きである知覚、認知との関係を知る。さらにそれらの動きを測定するために必要な情報処理およびデータ解析に関する技術を身につける。

プロジェクト遂行能力
心のはたらきに関わる諸問題について、これまでに学んできた知識を活用して、科学的な方法を用いた研究を計画、遂行し、レポートやプレゼンテーションにより明確に表現できる。

キャリアデザイン能力(N)
実社会において心理学の知識が生かされる場面を理解し、社会の動向、求められる人物像、就職環境などを把握して、将来の進路を展望し、自らの進むべき方向を決定できる。



この枠内の科目は「リベラルアーツ系科目」として開講される

▶ 必修科目 □ 選択科目 ● 他課程の科目